

第13回 板橋区議会報告会報告書

第13回 板橋区議会報告会

テーマ 議会報告会のあり方
ご意見をお聞かせください！

日時 令和8年5月12日（火）
午後6時30分～午後7時55分
場所 板橋区役所 北館11階 第一委員会室
オンライン

目次

はじめに	4
I 実行委員会	5
1. 議会報告会の目的.....	5
2. 実行委員会.....	7
(1) 実行委員の募集.....	7
(2) 実行委員会キックオフ（令和8年2月27日）	7
(3) 第2回実行委員会（令和8年3月23日）	8
(4) 第3回実行委員会（令和8年5月8日）	9
2. 当日のプログラムと役割分担.....	10
(1) 当日のプログラムと役割分担.....	10
(2) 当日までの準備（事務局）	10
3. 当日の会場レイアウト案.....	11
II 議会報告会	12
1. 実施概要	12
2. 議会報告会.....	12
(1) 議会の概要	12
(2) 当日配付資料	13
3. グループディスカッション	14
(1) 第一部「議会報告会の現状」	14
(2) 第二部「議会報告会の未来」	15
(3) グループごとの意見.....	17
4. アンケート.....	26
(1) アンケート項目（一般参加者）	26
(2) アンケート項目（議員）	27
(3) アンケート集計（一般）	29
(4) アンケート集計（議員）	37
III 結果のまとめ.....	43
1. 報告会の振り返り.....	43
2. 周知方法について.....	43
(1) 現状認識と課題.....	43
(2) 具体的なアイデア	43
(3) 議員自身による発信.....	43

(4) ブランディング	43
(5) 告知内容の不備	43
3. 当日のプログラムについて	44
(1) グループディスカッション形式の評価・課題	44
(2) 時間配分	44
(3) 第1部・第2部の構成（現状把握と未来）	44
4. 当日の運営について	44
(1) グループに入らない議員の扱い	44
(2) 受付運営	45
(3) 事務局との連携	45
(4) オンライン参加（Zoom）	45
5. 当日までと終了後の進め方について	45
(1) 準備～終了後を通じた設計の必要性	45
(2) 政策立案への接続	46
6. その他（総論）	46
(1) 開催形態・回数・場所	46
(2) 参加人数・参加者層	46
(3) テーマ設定と運営形式	47
(4) 「議会報告会」そのものの再検討	47
(5) 広聴広報機能全体の中での位置づけ・政策立案との接続	48
(6) 議員の参加姿勢・運営体制	48
(7) 区民と議会の関係性	48
(8) 世代間継承	48
IV 資料集	50
1. 実行委員会募集チラシ	50
2. 当日使用備品	50
(1) 配付物	50
(2) 案内・受付・会場	50
(3) グループディスカッション	51
(4) オンライン	51
3. 広報ツール	51
(1) ポスター	51
(2) Web	52

はじめに

本報告書は、第13回議会報告会に関して、実施の背景、実施にいたる実行委員会での議論、そして報告会本番での議論とアンケートについて、まとめたものである。

議会基本条例検証作業部会から「議会報告会について効果検証が必要」という報告が行われ、効果検証を兼ねた議会報告会とすることが議会運営委員会で合意された。

議会基本条例検証作業部会で課題となったのは、議会基本条例第12条（議会報告会）の「区民の意見及び要望を聴取することにより議会による政策立案及び政策提言の充実を図る」の条文どおり実施できているかである。議会運営委員会の議論を経て、第13回議会報告会は、「議会報告会の広聴広報に関する意見聴取を行う」ことを1つのテーマとし、別紙のとおり実施することとなった。

実行委員会開催以降の取組についてとりまとめ、報告とする。

I 実行委員会

1. 議会報告会の目的

議会運営委員会資料
令和8年2月19日

板橋区議会報告会の効果検証について

令和8年2月5日の議会運営委員会において、残りの検討課題及び第13回板橋区議会報告会の開催日程等について議論を行った。

については、下記のとおり、合意事項を確認する。また、第13回板橋区議会報告会の運営等、詳細な事項を検討するにあたり、実行委員会を開催する。

記

1 検討課題【(1)~(3)は、2月5日議会運営委員会資料 再掲】

- (1) 条例に沿った取組について ⇒ 議論終了
- (2) 議会報告会の実施場所等について ⇒ 議論終了
- (3) 参加者数等について ⇒ 議論終了

【合意事項】

- ・議会報告会の広聴広報に関する意見聴取を行うため、令和8年5月に議会報告会を開催する。
- ・その他1つテーマを決めて、質疑応答の時間を設ける。
- ・議会運営委員が中心となって運営する。
- ・議会報告会終了後に振り返りを行う。その結果を踏まえ、次回以降の実施方法等について検討する。
- ・実施場所については、固定化せず柔軟に対応する。

- (4) 議会報告会の運営について ⇒ 議論終了
- (5) その他 ⇒ 議論終了

【合意事項】

- ・区議会だよりや広報いたばしの掲載など、議員で対応できないことは区議会事務局が行う。
- ・できる限り議員のみで行う。

2 第13回板橋区議会報告会の開催について

- (1) 開催日程及び開始時間
令和8年5月12日（火）18時30分から
※開催時間は、実行委員会で決定する。
- (2) 開催方法
ハイブリッド形式（会場対面形式とオンライン形式を併用）
- (3) 会場
区役所11階第1委員会室（既存の議会議中継システムを使用）

- (4) 実施内容
 【第一部】議会報告会の広聴広報に関する意見聴取を行う。
 【第二部】その他1つテーマを決めて、質疑応答の時間を設ける。
 ※テーマ及び議会ツアーの実施の有無は、実行委員会で決定する。
- (5) 今後の運営体制
 実行委員会を設置し、必要な事項を決定する。なお、実行委員会の構成員は、議会運営委員のほか、全議員から募集することとする。
- (6) 議会報告会終了後の振り返り
 令和8年5月21日の議会運営委員会において振り返りを行い、次回以降の実施方法等について検討する。

3 第13回板橋区議会報告会実行委員会の開催について

実行委員会委員の募集における申込結果を踏まえ、以下の議員を構成員とし、実行委員会を開催する。

(1) 実行委員会の構成員

① 議会運営委員

- 【自民党】元山芳行、長瀬達也、間中りんべい、内田けんいちろう
 【公明党】成島ゆかり、いしだ圭一郎
 【民主クラブ】おなだか勝
 【共産党】いわい桐子

② 申込者

- 【民主クラブ】岩永きりん
 【共産党】石川すみえ、小柳しげる
 【いたばし未来】大野ゆか

(2) 第1回実行委員会の開催について

令和8年2月27日（金）11時から ※議会運営委員会理事会終了後

4 【参考】議会運営委員会の日程

	日 程		備 考
①	令和7年	12月5日（金）【終了】	第4回定例会
②		12月11日（木）【終了】	
③	令和8年	2月5日（木）【終了】	第1回定例会
本日		2月19日（木）	
⑤		2月27日（金）	
⑥		3月23日（月）	
⑦		5月21日（木）	
	5月22日（金） 臨時会（議会運営委員の選任）		臨時会の前日
⑧		5月27日（水）	
⑨		6月15日（月）	
⑩		6月19日（金）	

（「板橋区議会報告会の効果検証について」（令和8年2月19日）
https://www.city.itabashi.tokyo.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/062/027/r80219_gi_2_1.pdf）

※参考

議会基本条例¹

議会基本条例検証作業部会²

議会運営委員会³⁴ 令和7年12月5日

令和7年12月11日

令和8年2月5日

令和8年2月19日

2. 実行委員会

(1) 実行委員の募集

実行委員会は、議会運営委員会から呼びかけられ、従来の各会派別に参加人数を決めて構成するものではなく、議会運営委員会メンバーと、希望する議員で構成することとなった。

希望した議員も含めた実行委員会メンバーは、本報告書6ページの議会運営委員会資料「板橋区議会報告会の効果検証について」に掲載されたとおりである。その後、追加で数人の希望者があった。

(2) 実行委員会キックオフ（令和8年2月27日）

希望した人も含めた実行委員会メンバーは、本報告書6ページに掲載されたとおりである。その後、議長が加わり、以下のメンバー構成となった。

●議会運営委員会

自民党：元山芳行、長瀬達也、間中りんぺい、内田けんいちろう

公明党：成島ゆかり、いしだ圭一郎

共産党：いわい桐子

立憲民主党（旧民主クラブ）：おなだか勝

¹ 板橋区議会基本条例 逐条解説

(https://www.city.itabashi.tokyo.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/011/893/attach_66054_2.pdf)

² 「令和7年度 議会基本条例の検証について」

(<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/kugikai/nenpo/kihonjorei/1034077/index.html>)

³ https://itabashi.gijiroku.com/voices/g08v_views.asp?Sflg=41&FYY=2025&TY=2025

⁴ https://itabashi.gijiroku.com/voices/g08v_views.asp?Sflg=41&FYY=2026&TY=2026

●申込者

自民党：田中しゅんすけ、一島ひろし

共産党：石川すみえ、小柳しげる

立憲民主党：(旧民主クラブ) 岩永きりん

いたばし未来：大野ゆか

【会議概要】

日時：令和8年2月27日（金）11時～

会場：第一委員会室

出席：17名（オブザーバー参加含む）

決定事項：

① 委員長及び副委員長

委員長：いわい桐子

副委員長：一島ひろし

副委員長：岩永きりん

副委員長：大野ゆか

②報告会の日時・場所・開催方式

「第13回板橋区議会報告会」

開催日：令和8年5月12日（火）18時30分から

開催方法：ハイブリッド形式

会場：区役所11階 第一委員会室

③報告会の内容

参加者のグループディスカッションをメインとする（オンライン併用）。

[1部] 議会報告会の現状への意見

[2部] 議会報告会の未来への意見

（本会議場の見学ツアーはなし）

（3）第2回実行委員会（令和8年3月23日）

【会議概要】

日時：令和8年3月23日（月）11時～

会場：第一委員会室

出席：14名

決定事項：

①プログラムと進行に関する決定

- ・プログラム
- ・登壇者・進行の役割：
 - 司会：副委員長のいずれかが担当。
 - 開会挨拶・閉会挨拶：司会が担当（開会・閉会宣言程度の簡単なものとする）。
 - 議会の概要：元山議員（議運委員長）が担当。
 - プログラムと運営の説明：副委員長が担当。

②当日の会場運営に関する決定

- ・グループワークの編成：事前の申し込み数を確認の上、グループ数を決定する。議員の中からリーダーとペアを決める案があり、リーダーは実行委員が務める方向。
- ・参加しやすい環境づくり：発言を控えたい参加者にも配慮し、模造紙とふせんを用意する。
- ・発表形式：グループワーク後、1グループ1～2分で発表を行う。使用した模造紙は壁に貼り付け、全体で見られるようにする。
- ・当日のオンライン参加者は、Zoomにて接続する。グループディスカッションの結果は、参加者の意見を記入した付箋を議員が模造紙に貼り、会場に共有する。
- ・手話通訳：申し込み時に要望があった場合に検討・対応する。

（４）第3回実行委員会（令和8年5月8日）

【会議概要】

日時：令和8年5月8日（金）13時30分～

会場：第一委員会室

出席：25名

内容：当日のプログラム、役割の確認。オンライン接続環境の確認。

2. 当日のプログラムと役割分担案

(1) 当日のプログラムと役割分担

別紙資料②

【第13回議会報告会 プログラムと進行】 ※名札は議員も参加者も全員シールにマジックで書いてもらう(受付係)

時間	内容	運営と分担
17:00	実行委員&当日スタッフ集合(第1委員会室) 会場設営、誘導準備 プロジェクターでスクリーンに「板橋区議会 第13回議会報告会」と映し会場看板とする(岩永&事務局)	会場設営:リーダー(横川)の指示で、案内・受付・オンライン担当以外の全員で会場設営。 案内係準備:リーダー(小柳)の指示で配置(荒川、おばた、大森) オンラインの設置:内田・石川(事務局) 受付準備:リーダー(いしだ)の指示で準備(小林、五十嵐、いがらし)
18:00	開場 誘導と受付開始	早く到着してしまった人への対応も受付で!
18:30	開会宣言(一島副委員長)1分 議会の概要(元山議会運営委員長)5分 プログラムと運営説明(岩永副委員長)2分	→冊子:「私たちの区議会」を使って ※会場案内・受付は、最小限の人数とし、できるだけディスカッションに。
18:40 約30分	第1部「議会報告会の現状」に対する意見交換 ○現状説明(いらい実行委員長)5分 ○グループディスカッション(20分) →現状の課題だしのイメージ	○グループは、議員2人、参加者4人の6人1チーム(参加人数で柔軟に) A:大野・寺田 B:岩永・井上 C:元山・熊田 D:横川・小野 E:長瀬・わたなべ F:成島・小柳 G:石田・山内 H:おなだか・実正 I(オンライン):内田・石川
19:10 約20分	第2部「議会報告会の未来」に対する意見交換 ○グループディスカッション(20分) →どういふ議会報告会にしてほしいか?	○ディスカッションは、→横造紙に付箋で貼る
19:30	各グループからの報告(1グループ5分) →報告したグループから会場の壁に貼る。	→グループ数で各報告時間が変わる。
19:55	閉会宣言(大野)2分→遅くとも20時には終了 かたづけ開始 20:20解散	グループディスカッションの状況によって時間が変わる。

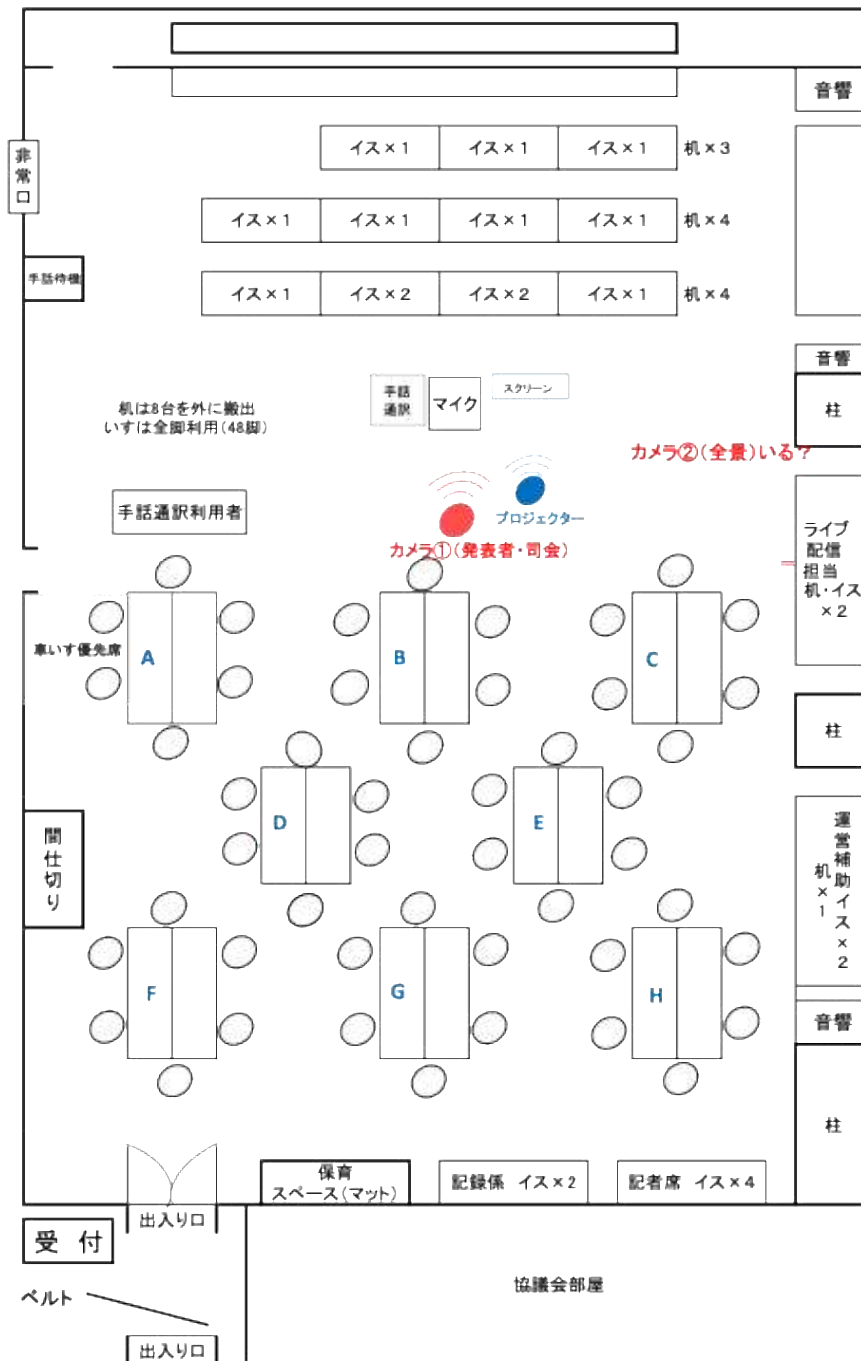
※いらい(タイムキーパー)・一島&中妻(記録)のため、グループトークには加わらない。

(2) 当日までの準備(事務局)

- ①広報(区議会だより、「広報いたばし」、ポスター、区ホームページ、X、LINE など)
- ②申し込みの事前受付と受付簿の作成
- ③配付資料の準備(50部程度)
- ④オンライン環境用にWi-Fi、PC(2台)

3. 当日の会場レイアウト案

第一委員会室（会場レイアウト案）



II 議会報告会

1. 実施概要

「第13回議会報告会」

開催日時：令和8年5月12日（火）18時30分～19時55分

開催場所：板橋区役所 11階 第一委員会室

開催方法：会場対面形式とオンライン形式を併用したハイブリッド形式

会場参加者数：31名（申込31名・当日欠席5名・当日参加5名）

オンライン参加者数：1名（申込3名）

●当日スタッフ

自民党：横川たかゆき、木田おりべ、ひはらみちこ

公明党：寺田ひろし、わたなべ美、いがらし学、実正やすゆき

共産党：小林おとみ、荒川なお、山内えり

立憲民主党：おばた健太郎、くまだ智子

いたばし未来：井上温子

社民党：五十嵐やす子

コモンズ：中妻じょうた

無所属議員：しいなひろみ、大森大

※このほか、当日、複数人の議員の参加があった。

2. 議会報告会

（1）議会の概要

元山議会運営委員長による、板橋区議会の説明。

冊子「わたしたちの区議会」などを参照して解説。

(2) 当日配付資料

なぜ、いつもと違う「議会報告会」なの？

板橋区議会の議会報告会は、「板橋区議会基本条例」第12条の条文に基づき開催されてきました。その条文は、以下の通りです。

議会基本条例第12条

議会は、区民に議会活動の状況を直接に報告し、及び説明し、並びに区政に関する情報を提供するとともに、区民の意見及び要望を聴取することにより議会による政策立案及び政策提言の充実を図るため、特段の事情がある場合を除き、毎年1回以上、議会報告会を開催するものとする。

議会基本条例第29条2項に基づき、板橋区議会は、任期中（4年）に1度「議会基本条例検証部会」を設置し、検証を重ねてきました。昨年の検証部会で「条文は現状のまま」で合意した一方、「議会報告会」は、基本条例が示す「議会活動の直接報告、説明、情報提供」は、一定実施できているが「区民の意見や要望を聴取する」という点は、十分ではないのではないか？という意見のもと、「議会報告会について検証が必要」と議会運営委員会に報告されました。議会運営委員会で検討した結果、2026年度の議会報告会は、「議会報告会における意見聴取のあり方について」をメインテーマにして実施することとし、今回の開催となりました。

これまで、どんな「議会報告会」だったの？

これまでの議会報告会は、ネット中継や議会ツアーなど様々な努力も行い、以下のプログラムのような内容で実施してきました。

- ・議会の概要、予算審査・各常任委員会・各特別委員会・議会運営委員会の報告
- ・「質疑応答」の時間はなく、文書等で寄せてもらい、後日ネット上で回答。
- ・来場者からの感想を聞き、閉会へ

アンケートの自由記載には、「概要は理解できた」「よく準備されている」という好評価の一方、「質疑応答の時間をつくってほしい」「報告の資料が足りない」「もう少し踏み込んだ報告をしてほしい」「年2回やってほしい」などの意見が寄せられています。その中でも、「質疑応答」の時間確保を求める意見が多い印象です。そのため、特に「意見聴取」の方法について、重きを置いて、みなさんからのご意見を聞き、今後の議会報告会に活かしていきたいと考えています。

3. グループディスカッション

グループディスカッションは、

- ・第一部「議会報告会の現状」
- ・第二部「議会報告会の未来」

の二部構成で行われ、最後に各グループ2分ずつの報告がなされた。

(1) 第一部「議会報告会の現状」

() 内はグループ

【良かった点】

[議会ツアーについて]

・議会ツアーが良かった。議場に入れる体験は貴重だった。中でも特に写真撮影ができたことが良かった(A・G)

[取組姿勢について]

- ・毎回違うことに挑戦している姿勢が良い(A)
- ・いろいろな会派の議員と一度に交流できる(A)
- ・手作り感があり、議員自身が準備・発信・案内をしていたことが良かった(A)
- ・板橋区が他自治体に先駆けて報告会を実施しているのは素晴らしい(E・G)
- ・会派を越えた協力体制が素晴らしい(E)
- ・オンラインを活用しているのが良い(D)
- ・ワークショップ形式を要望したところ、実現してくれた(E)

[その他]

- ・区内で何が話し合われているか分かって良かった(A)
- ・不満はなかった(D)
- ・「わたしたちの区議会」の冊子はとても良い(C)

(参考) 議会報告会以外の事項について

- ・議会の中継・録画が後で見られるのは良い(C)
- ・議会だよりの○×評価はわかりやすい(C)

【課題・改善点】

[質疑応答・双方向性の不足(最多の指摘)]

- ・質疑応答の時間がない、参加者から質問ができない(A・B・C・E・F・G・H)
- ・報告を聞くだけで他の人の意見が聞けない(A)
- ・質疑応答については、参加者へメールで回答などの工夫が必要(E)
- ・請願・陳情の報告がプロセスではなく結果の報告になっている(E)
- ・区民の言葉を一旦受け取り受容する姿勢が信頼につながる(E)

・Face to Face で話せない(H)

・やりとりしたかった(D)

[開催頻度・日時・会場について]

・年1回のみで開催では少ない(A・B・F・G)

・平日開催では働いている人が参加しづらい(B・オンライン)

・開催時間が短い、半日くらい欲しい(A)

・会場が区役所のみで限られている(A・H)

・会場までの交通の便が悪い地域がある(オンライン)

[広報・周知について]

・報告会が行われていることを知らなかった(A・F・H)

・申し込み方法(電話)のハードルが高く、Google フォームなど多様化が必要(F)

・告知や申し込み方法に工夫が必要(C)

・議員自身が何を伝えたいのか不明確(A)

・認知度の低さが最大の課題(F)

・参加者が少ない(B)

[内容・進め方について]

・難しい用語が多い(G)

・説明が一方向的(F・G)

・予算の説明がない、各委員長の説明がわかりにくい(G)

・議会報告会向けの資料がない(G)

・公平性を意識し過ぎて固い印象(B)

・委員会報告は区報以上の内容がなくリアルさが欲しい(E)

・国や都よりわかりづらい(オンライン)

・1年に1回全部聞くと集中力が続かない(F)

・カスハラや持論の長い発言への対応(B)

・少数派の意見が報告に出ない(D)

(参考) 議会報告会以外の事項について

・どの区議に相談すればよいかわからない(B)

・議案がHPで見てもわかりにくい(B)

・議会活動が具体的に見えない(H)

・議会だよりが読みづらく、レイアウトに工夫が必要(C)

(2) 第二部「議会報告会の未来」

[開催頻度・日時・会場]

・年複数回の開催(定例会ごと等)を希望(A・B・E・F・G・H)

- ・土日・休日開催を希望(A・B・D・G)
- ・平日夜の遅め(19:30～など)の時間帯も(B)
- ・会場のバリエーションを増やす/区役所近辺以外でも開催(A・C・E・F・H)
- ・リアルと動画をうまく使い日数を増やす(F)
- ・駅前など人が集まる場所での周知・配付(H)
- [双方向性・対話形式]
- ・質疑応答の時間を設ける(B・F・H)
- ・開かれた、話し合える双方向の報告会に(B)
- ・リアルタイムで質問・その場で回答(H)
- ・今回のようなワークショップ/Face to Face形式が良い(B・H)
- ・グループディスカッション形式が良い(C)
- ・議員と交流できる時間をつくる(A)
- ・全議員(46名)と参加者が1対1で懇談できる場(G)
- ・終了後に希望者のみの懇親会(F)
- [テーマ設定・参加型]
- ・テーマを決めて報告会を開催する(A・B・D・F・G・H)
- ・テーマ例:子育て、高齢者、防災、交通、若者(G)
- ・事前アンケートで扱ってほしい事項を聞く(B)
- ・事前に質問を受け付け、可能なら事前回答(F)
- ・テーブル別にテーマを決め希望のテーブルに参加(F)
- ・説明型から参加型へ(G)
- [内容・構成の工夫]
- ・議案などをわかりやすく伝える場(B)
- ・会派ごとの意見・報告(B・D)
- ・議会の楽しみ方、面白さを議員目線で周知(A)
- ・区民が議会を知るメリットを伝える(A)
- ・どんな意見を言ったら良いか具体的に提示(A)
- ・議会報告は短く、3つの柱に絞る(G)
- ・決まった内容を簡単にプリントで配付し議論材料に(F)
- ・各委員会の報告はベースとして必要(E)
- [対象者の拡大]
- ・未成年・高校生・子どもの参加(E・G)
- ・多世代(選挙権のない人も含む)の参加(E)
- ・現役世代が来られる報告会(D)
- ・子ども議会の開催(G)
- ・障がい者・親御さん視点の話を聴く機会(E)

- ・区民をランダムに選んで参加を募る(E)
[広報・情報発信]
- ・広報力の強化(C)
- ・各議員の SNS を総動員して 2 週前から告知(F)
- ・J:COM など他媒体の活用・配信(F)
- ・区議会だよりの活用・見出しの工夫(C・D・H)
- ・町会役員会での紹介、スーパーでの配付(H)
- ・スーパーのレジ横(袋詰めスペース)に議会便りを設置(H)
- ・委員会も動画でチャプターごとに視聴可能に(C)
- ・区議会生配信&コメント機能(ニコ動風)(オンライン)
- ・定例会後に各会派が YouTube で報告(H)
[その他]
- ・地域ごとの小さなタウンミーティングを党派を超えて実施(E)
- ・報告会后に内容を精査する場を設ける(E)
- ・区議と区民の距離を縮める(E)
- ・陳情の出し方の案内も欲しい(C)
- ・フィードバックが重要(F)
- ・積み重ねで良くなっていくはず(B)
(参考) 議会報告会以外の事項について
- ・議会だよりの議員の質問スペースを増やす、答弁に具体性を(H)

(3) グループごとの意見

【A グループ】

第1部：議会報告会の現状

いい点

[カテゴリ：議会ツアー]

- ・ 議会ツアーが出来る。(特に写真撮影が出来るところ！)
- ・ 議会ツアーがあったこと(議場に入れる)

[カテゴリ：挑戦]

- ・ 報告会 毎回違うことを挑戦しようとしている
- ・ いろいろな会派の議員と一度に交流ができる
- ・ 手作り感。議員自身が準備や発信、議会ツアーの案内などとしてくれたこと。

[その他]

- ・ この様な形で報告会があるのは区内で何が話し合われているか分かり、良かった

課題点

[カテゴリ：具体的にふみこんだ内容を質問ができない]

- ・ 参加者側から質問ができない
- ・ 報告をきくだけで質問ができない（他の人の意見をきけない）

[カテゴリ：会場、開催時間]

- ・ 平日ではなく土日開催してほしい。
- ・ 会場選びが難しい（土日・インターネット）
- ・ 時間が少ないと思った。可能なら半日間は開催してほしい。
- ・ 年1のみの開催であること（定例会ごとに）
- ・ 議会の楽しみ方など、ここ面白いを議員目線で周知してほしい。
- ・ 区役所だけでなくもう少し会場を増やしたらどうか。

[カテゴリ：広報]

- ・ 報告会が行われていることを知らなかった。
- ・ 終わりの時間の周知 どういう報告会なのかを周知するべきでは？
- ・ 議員の方自身がこの報告会で何を知らしてもらいたいと思っているか

第2部：議会報告会の未来

- ・ 議会ツアーを残してほしい 土日開催希望（区民が来やすい時間帯で）平日夜も残して

[カテゴリ：興味を持ってもらう必要がある 議会を身近に]

- ・ 議会を知ることで、区民が得られるメリットを伝えたらどうか？
- ・ どんな意見を言ったら良いのかを具体的に提示するのはどうか？
- ・ テーマを決めて報告会を開催する（一緒につくる場）
- ・ 定例会ごとに開催してほしい!!
- ・ 議員と交流できる時間をつくってほしい。

【Bグループ】

第1部：議会報告会の現状

- ・ 働いている人にとってこの時間は参加難しい
- ・ 平日
- ・ 参加者少ない
- ・ 年1回はすくない
- ・ 議員全員参加
- ・ 質疑なし
- ・ 公平性を意識し過ぎてつまらない固い感じ

- ・ カスハラになりかねないほど持論が長すぎる参加者がいた
- ・ 複数回に報告会をわけると意見がまとまらない
- ・ どの区議に相談すればよいかわからない
- ・ 議案を HP で見るがわかりにくい
- ・ 開催日、回数
- ・ 会のあり方、内容

第2部：議会報告会の未来

- ・ いろんな曜日、時間の選択肢がある
- ・ 複数回やって、議員も出やすい回に出る
- ・ 休日にやる
- ・ 年に4回ぐらいやる
- ・ 今回のようなワークショップ形式（ぎっくばらんに）
- ・ 開かれた、話し合える報告会に（双方向）
- ・ 質疑応答があったほうがよい
- ・ 平日のもう少し遅い時間に（19；30時からとか）
- ・ 事前アンケートで当日扱ってほしい事項を聞く「どれに興味ありますか？」
- ・ 議会として課題を聞ける場があるとよい
- ・ 議案などをわかりやすく伝えてくれる場があるとよい
- ・ 「うちの会派はこうでした」と会派ごとに報告する
- ・ もっと面白く。人数を集める
- ・ 積み重ねで良くなっていくはず
- ・ 文書質問形式で会派の意見を伝える？

【Cグループ】

第1部：議会報告会の現状

- ・ この会のことは掲示板で知りました。こういうとりくみは区政に関心をもつ良い機会だと思うので、告知や申し込み方にもっと工夫があれば良いかと。
- ・ 議会に対して疑問がある時でも報告会で質疑できない。報連相がない
- ・ 議会だよりもっと読みやすくしてほしい
- ・ 区民の声をもっと聞いて欲しい。住民が住居しやすい町づくりをして欲しい
- ・ 議会だよりの○×はわかりやすい。SNSでも見られるようにしてほしい
- ・ 「区議会だより」について読むのがつかれる。レイアウトが平面的でメリハリがない
- ・ 委員会も動画にしてチャプターごとにわけて動画で見られるようにしてほ

しい

- ・ 議会について、中継と録画であとで見られるのはいいと思います。

第2部：議会報告会の未来

- ・ グループディスカッションができるのは良い
- ・ 全体の報告もしてほしい
- ・ いろいろな場所で複数回やってほしい
- ・ いろいろ知りたいがいつ報告会が行われるか、内容も知りたい
- ・ 議会だよりの「見だし」もうひと工夫を!!よみたくなるように
- ・ 「わたしたちの区議会」の冊子とてもよい。くばってほしい
- ・ 陳情の出し方がわからない。出し方の案内もほしい
- ・ 開催日時、場所のバリエーションを増やして参加しやすく。
- ・ 広報力を強化してほしい

【Dグループ】

第1部：議会報告会の現状

いい点

- ・ 良かった。
- ・ 不満はなかった
- ・ 段取りも良かった
- ・ オンライン活用している

課題点

- ・ やりとりしたかった
- ・ 他自治体の報告会を参考に
- ・ 少数派の意見の報告は出ないから報告会の意義が…
- ・ 議員がアピールする場にして

第2部：議会報告会の未来

- ・ 報告会をもっとオープンに大規模に
- ・ テーマを割り切って決める
- ・ 議会での内容・過程を聞きたい
- ・ 各人の会派の意見を発表する場に
- ・ 土・日・日中などの開催も
- ・ 現役世代が来る報告会
- ・ 区議会だよりの活用してほしい

【E グループ】

第1部：議会報告会の現状

改善点

- ・ 区民の言葉を一旦受け取り受容する姿勢が信頼に繋がる。
- ・ 委員会の報告は区報を見れば分かる以上のものでない。内容にもっとリアルさが欲しい。
- ・ 質疑応答の時間が短くその場で即答がない。参加した区民にはメール回答もありでは。請願、陳情の報告にはプロセスをもっと盛り込んで欲しい。結果報告になってないか

良い点

- ・ 議会報告会は他の議会の「先駆」！、試行錯誤のアップデートを!!
- ・ ワークショップ形式と要望した事が実現した。ありがとう。
- ・ 都／区からの議員の住民目線で進められているのが良い
- ・ 板橋区議の皆様、一人一人が会派を越えての協力体制がとても素晴らしいです。

その他

- ・ 各委員会報告はやはり必要!!やはり報告はベース!!
- ・ 議会報告会の内容はネットで観れるので、その先の委員会の進行具合を知りたい。
- ・ 報告会以外の場所で区議との関わりを増やして欲しい。

第2部：議会報告会の未来

- ・ 「未成年」を対象に！
- ・ 年に複数回開いて欲しい
- ・ グループワーク・ワークセッションを報告会以外の日程で開催して欲しい
- ・ 多世代の時代なので！子供とか高校生とか選挙権のない人も参加できたら！
- ・ 議会が終わったら内容を精査する場を設けて欲しい
- ・ 障がい者支援を含め、障がい者の目線、親御さん視点のお話を聴く機会を作る
- ・ 中学の地域一行が教育委員会、文化、芸能、スポーツ、一般だけではなく学生も参加してもらおう
- ・ 「区役所」近辺を離れてみては
- ・ 地域の問題は各々なので、小さなタウンミーティングを党派を超えて行なっ

てほしい。

- 区民をアットランダムに選び参加をつのる。(情報を取りにいかないで開催すら分からない)
- 区議と区民のキョリを縮めて欲しい

【F グループ】

第1部：議会報告会の現状

- 報告会をやっていることを知らなかった。もっと区民に周知
- 年に1回しか行っていないというのはおどろいた、少ないな・・・
- とても真し的(原文ママ)
- 電話はハードル高い。Google フォームなど申し込み方法をもっと多様に簡単に。
- 1年に1回全部話を聞くだけでは途中で疲れてしまって集中力がなくなると思う。
- 結論ではないし、そう言う会ではないから。でも一市民の意見を聞ける。
- 一方的な報告だけということももっと検討してほしい
- 公式ラインで知って初めて参加した。
- 大きい会社が板橋から出ていくのを阻止できないのか
- 板橋花火大会東京では一番ですが日本一目指してもっと力入れて頑張してほしい
- 広大な空き地は必ず地区に1箇所もつ

第2部：議会報告会の未来

- あらかじめ決まったことを簡単にまとめプリントして出席者に配る、それをもとに議論。
- 年に複数回。分野別の議会報告会にして欲しい
- J:COM を入れよう、ほかの媒体も活用しては
- 認知度が低い！最大の課題。
- 先にホームページなどで説明した後、読んで質問のある人に来てもらう とか？
- リアルと動画をうまく使って日数を増やしては？
- まえもって質問をうけつけておく 回答可能なら前もって回答しておく。
- あらかじめテーブル別にテーマを決めて、希望のテーブルに参加。興味があるところに参加でも。参加意欲↑↑
- フィードバックは重要

- ・ もう少し区内の色々な場所でもやってほしい J-com で配信放送
- ・ 質疑応答の時間は欲しい
- ・ 終わった後議員さんも含めて希望者のみ会
- ・ 各議員さんの SNS を総動員して2週前から告知

【Gグループ】

第1部：「議会報告会の現状」

いい点

- ・ 議会ツアーはとても良い
- ・ 板橋区がいちばん先に報告会をやったということですばらしい。

改善点

- ・ 難しい用語が多い
- ・ 説明が一方的
- ・ 議員さんの報告は不要
- ・ 用語がむつかしい
- ・ 予算の説明がない
- ・ 各委員会の委員長の説明がよくわからない
- ・ 議会報告会向けの資料がない
- ・ 条例って何
- ・ 質疑応答がない
- ・ 質疑応答の時間がない
- ・ 年1日しか行われぬ…（他自治体で流行っている）
- ・ 教育委員長との関係
- ・ 区政
- ・ 今日の報告会は基本条例12条に基づく報告会なのか？

第2部：議会報告会の未来

- ・ 報告会での要望の取り入れ
- ・ 説明型から参加型へ
- ・ 前半（15分）議会報告は短く。3つ柱、短く図解中心
- ・ 中盤（30分）テーマ別対話
- ・ テーマ 子育て 高齢者 防災 交通 若者
- ・ テーマに人を 希望制
- ・ 後半（15分）今後どう扱うか
- ・ 地域との接点 信頼形成 政策づくりの入口

- ・ 高校生の参加を
- ・ 土・日でやる
- ・ 全議員（46名）と参加者が一対一で懇談できるようにしてもらいたい
- ・ 年2回以上
- ・ 前日のふり返り
- ・ 子ども議会開催して

【Hグループ】

第1部：議会報告会の現状

- ・ 議会報告会の周知が少ない
- ・ 会場や回数が限られており参加しにくい
- ・ 意見交換会がない
- ・ Face to Faceで話せない
- ・ 議会活動が具体的に見えない

第2部：議会報告会の未来

- ・ ポスターの概要版（チラシ）などを駅前配付する
- ・ 議会だよりを大きいスーパーなどのレジ横の買い物を袋に詰めるところにおいたらどうでしょうか。
- ・ 周知方法「区議会だより」町会役員会で紹介。スーパーで配付。
- ・ あまり準備に時間をかけず回数を増やしていく
- ・ 開催の仕方を変える。回数を増やす。場所を増やす。
- ・ テーマを設定して絞って報告し、意見を聞く
- ・ 各種課題を話しあう。テーマを決めて
- ・ 今回のようにFace to Faceで話す形式がいい
- ・ リアルタイムで質問 可能な限りその場で回答
- ・ 意見交換して、その場で何らかの返答をして欲しい（リアルタイムで）
- ・ 夜間、休日での議会開催
- ・ 定例会後に各会派がYouTubeで報告
- ・ 「区議会だより」での議員の質問スペースが少ないので増やすべき。答弁に具体性がない。

【I グループ (オンライン)】

第1部：議会報告会の現状

- ・ 国や都よりわかりづらい
- ・ 興味がないとむずかしい
- ・ 交通の便が悪い地域があるので、アーカイブの方が面白い。
- ・ 区議会生配信&コメントも (ニコ動みたいに)
- ・ 平日夕方は参加しづらい (アーカイブ参加、土日、金曜とか)

4. アンケート

(1) アンケート項目（一般参加者）

Q1. お住まいの地域を教えてください。

板橋区（町名： ） 区外

Q2. ご年代を教えてください。

10代以下 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代以上

Q3. 議会報告会の開催を何でお知りになりましたか？（複数選択可）

ポスター（町会掲示板） 区議会だより 広報いたばし 区議会ホームページ X
（旧ツイッター）

区公式LINE 区役所内広告モニター 議員 知人 その他（ ）

Q4. 『議会の概要』の説明はいかがでしたか？

分かりやすかった やや分かりやすかった やや分かりにくかった 分かりにくかった

【グループディスカッションについて】

今年度の議会報告会では、「議会報告会のあり方」をテーマに、区民の皆様とのグループディスカッションを行いました。以下のご質問にお答えください。

Q5. 本日のグループディスカッションはいかがでしたか？

とても満足した まあまあ満足した 不満なところもあった 満足しなかった

Q6. ディスカッションの中で、ご自身の意見や考えを発言しやすかったですか？

発言しやすかった まあまあ発言しやすかった やや発言しにくかった 発言しにくかった

Q7. 「議会と区民のキャッチボール（双方向の意見交換）」という観点から、今回の議会報告会をどのように評価しますか？

十分にできていた どちらかといえばできていた やや不足していた 不足していた

Q8. 今後の議会報告会において、「区民が参加・関与できる仕組み」として充実させてほしいことは何ですか？（複数選択可）

テーマを事前に公募・選定する 区民がテーマ提案できる機会を設ける

ディスカッション結果を議会活動に反映する仕組みをつくる

継続的に参加できるフォローアップの機会を設ける その他（ ）

Q9. 所要時間について、どのようにお感じになりましたか？

長かった ちょうどよかった 短かった

Q10. 議会報告会全体の評価について、教えてください。

評価する やや評価する あまり評価しない 評価しない

Q11. 今後の開催場所のご希望はありますか？

区役所本庁舎 グリーンホール 区立文化会館 成増アクトホール 高島平区民館
その他（ ）

Q12. 板橋区議会報告会は何回目のご参加になりますか？（ライブ中継視聴も含む）

初めて 2回目 3回目 4回目 5回以上

Q13. 議会報告会で議会ツアーが開催された場合、参加したいと思いますか？

はい いいえ

本日の議会報告会へのご質問・ご感想、議会に対するご意見・ご要望などがありましたら、以下の欄にご記入ください。

報告内容以外の区の施策・事業に関するご質問については、担当部署へお問い合わせいただきますようお願いいたします。

ご意見・ご要望については全議員で共有し、今後の議会活動に生かしてまいります。

Q14. 自由記載欄

（2）アンケート項目（議員）

議会報告会に参加した上でのアンケートにご協力をお願いします。

アンケートは選択式（4問）・記述式（3問）の7項目です。匿名でのアンケートです。

このアンケート結果は議会運営委員会にも報告します。

Q1. 議会基本条例第12条にある「議員が直接報告をし、区民の意見を聴取する方法」として、今回の議会報告会は実施できていたと思いますか？

十分できていたと思う
ある程度できていたと思う
あまりできていなかったと思う
できていなかったと思う

Q2. （「十分できていたと思う」「ある程度できていたと思う」と回答した方）

今回、特にどのような点が良かったと感じましたか？

Q3. （「あまりできていなかったと思う」「できていなかったと思う」と回答した方）

今後、どのような改善が必要だと感じますか？

Q4. 今回の「区民と一緒に考える形式」は有意義だったと思いますか？

とてもそう思う
そう思う

あまりそう思わない

そう思わない

Q5. 従来の議会報告会と比べて、区民との距離感はどうでしたか？

とても近く感じた

やや近く感じた

あまり変わらない

距離を感じた

Q6. 今後も今回のような形式を継続したいと思いますか？

継続したい

改善しながら継続したい

別形式も検討したい

従来形式が良い

その他:

Q7. 「こんな議会報告会にしていきたい」というアイデアがあれば教えてください。

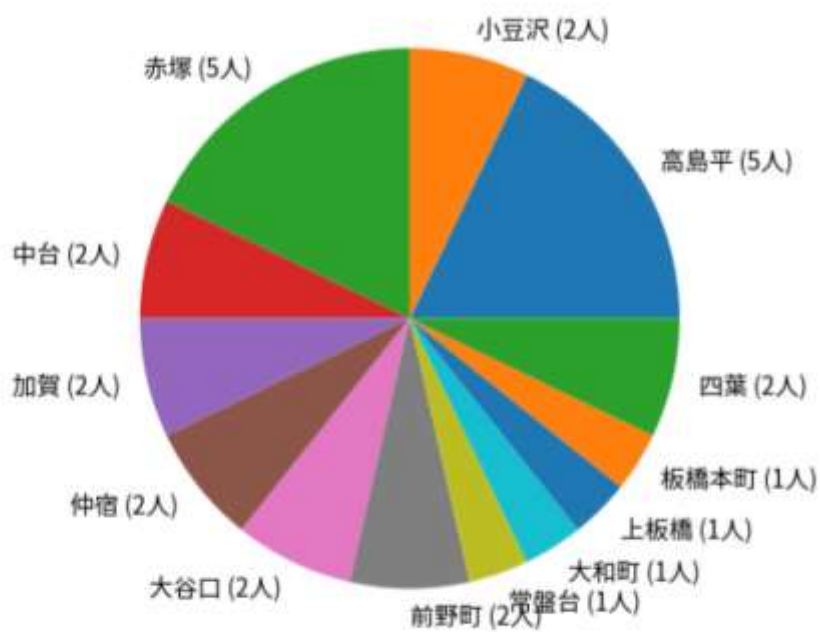
※率直なご意見をお聞かせください。

Q8. その他、ご意見・ご感想があればご記入ください。

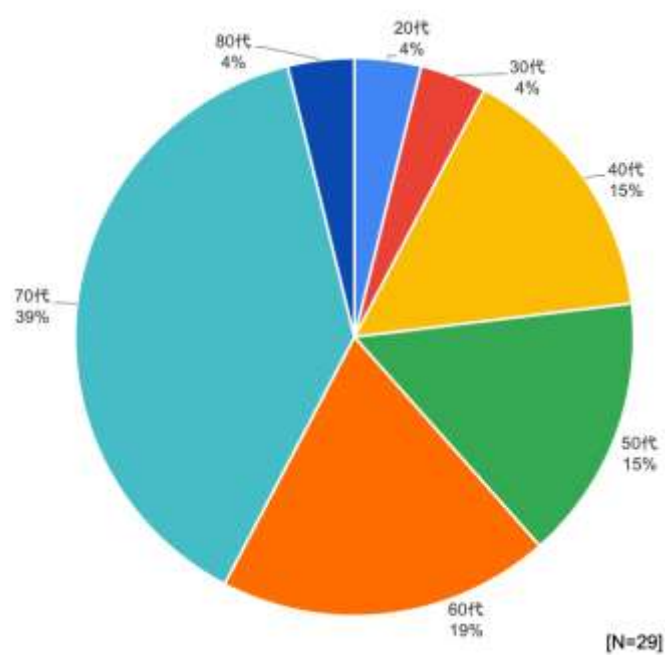
(3) アンケート集計（一般）

一般参加者のアンケート集計結果は以下の通り。[N=29]

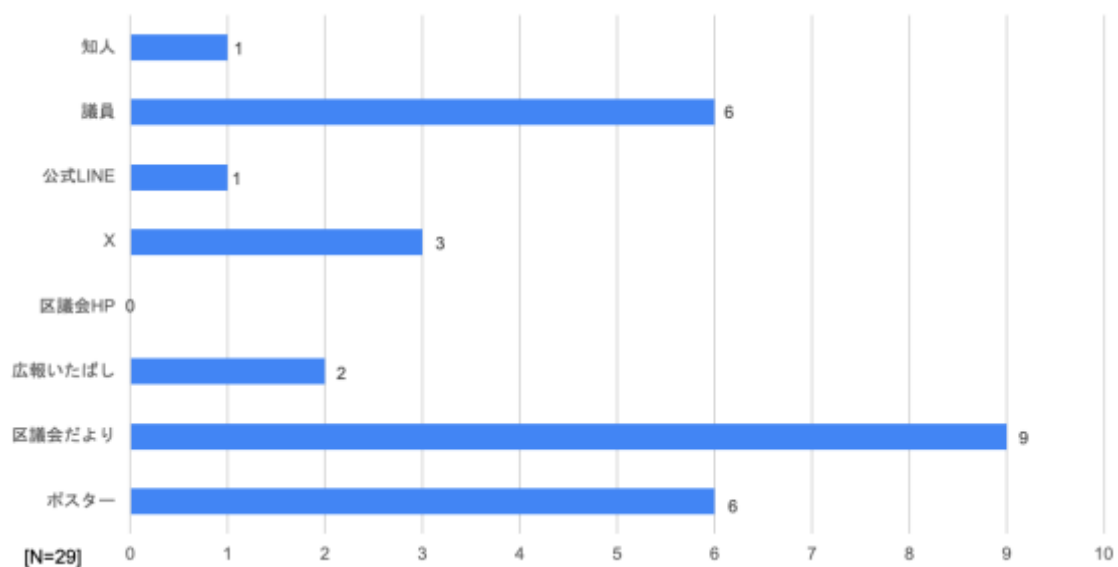
Q1. お住まいのエリア



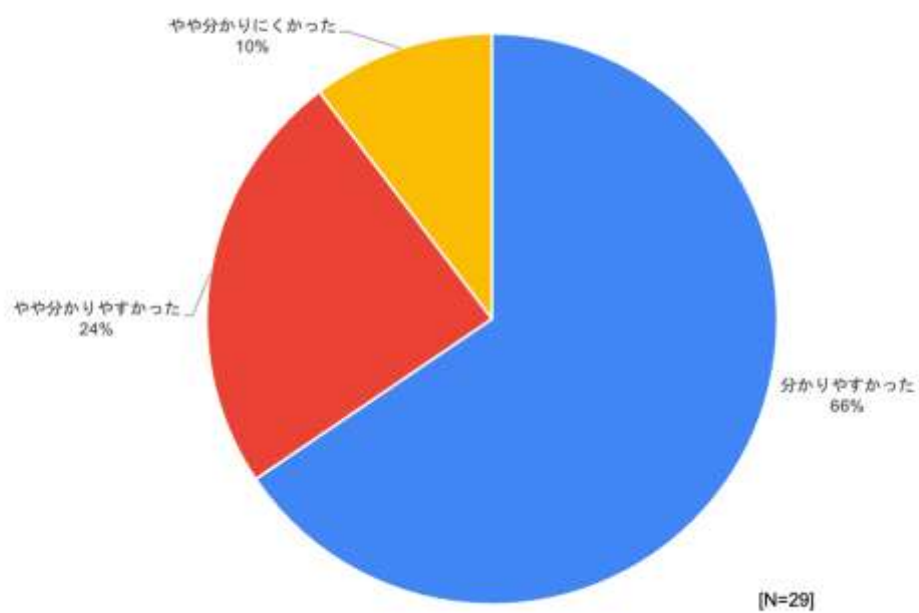
Q2. 参加者の年代



Q3. 議会報告会の開催を何でお知りになりましたか？（複数選択可）

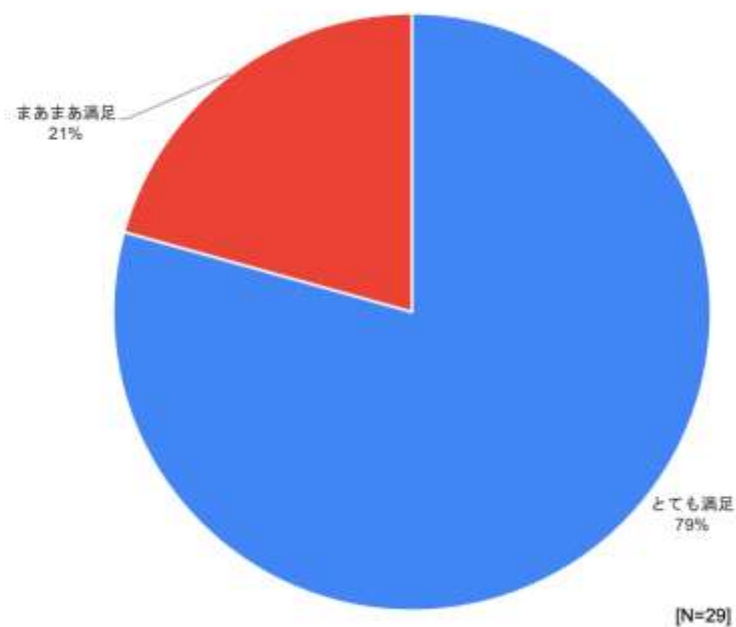


Q4. 『議会の概要』の説明はいかがでしたか？

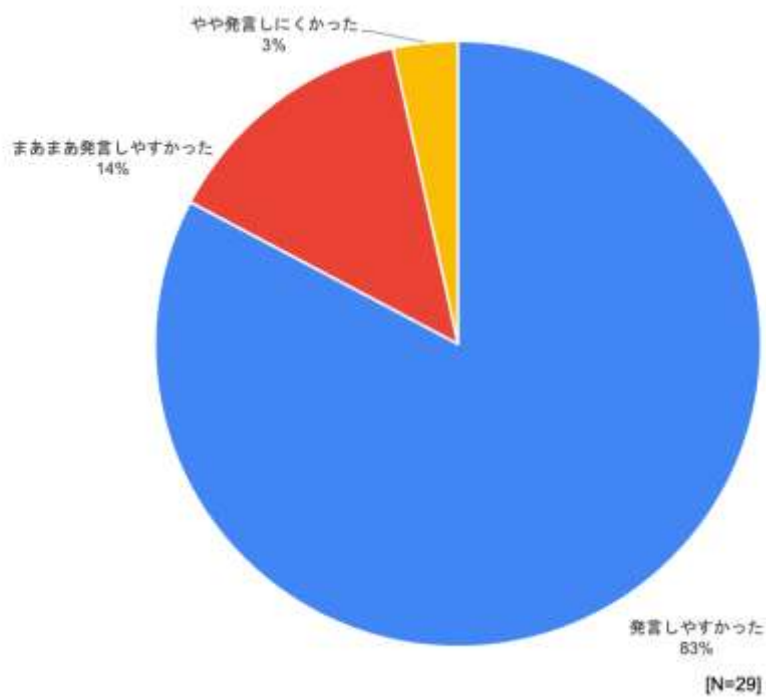


【グループディスカッションについて】

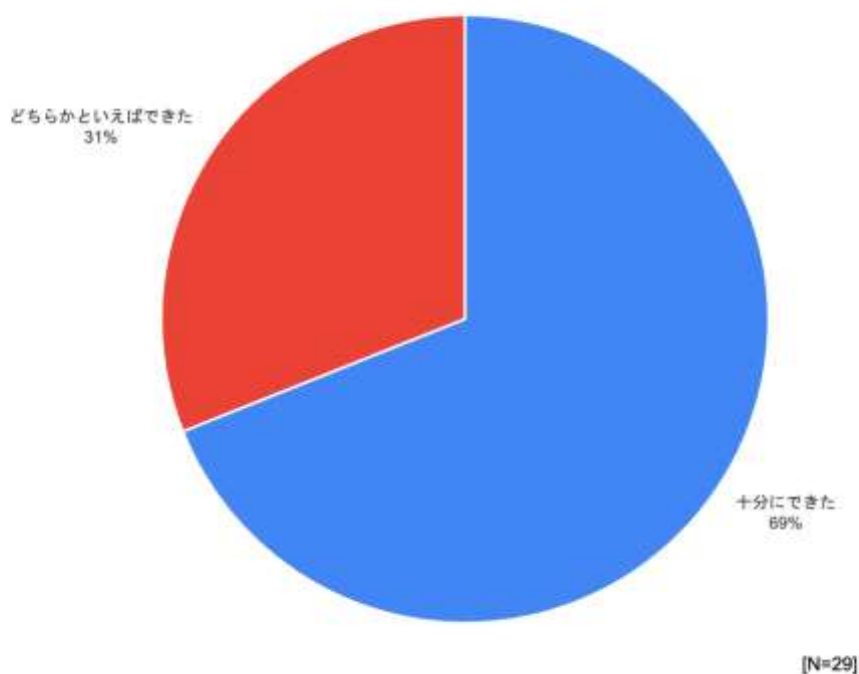
Q5. 本日のグループディスカッションはいかがでしたか？



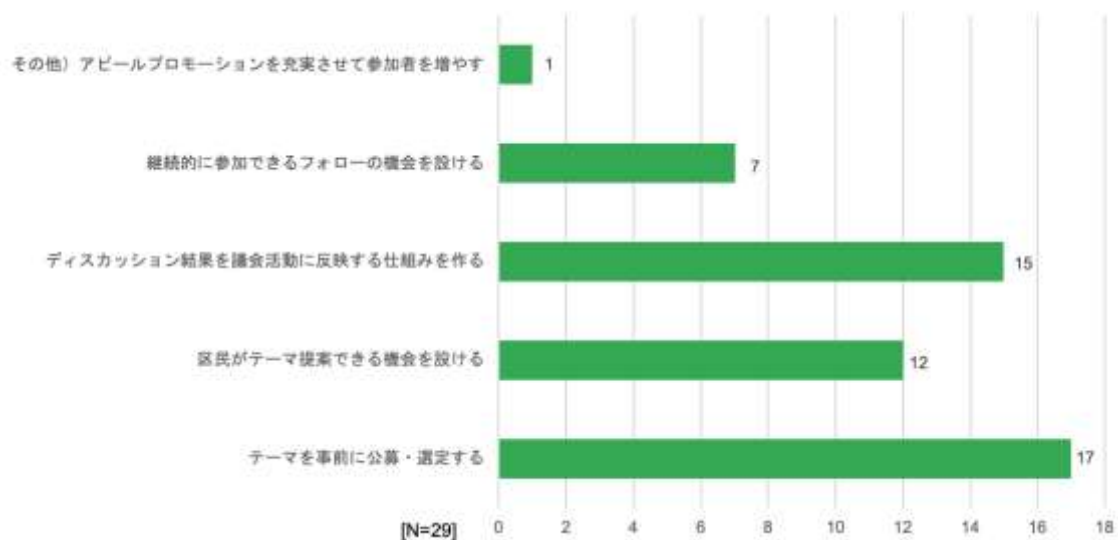
Q6. ディスカッションの中で、ご自身の意見や考えを発言しやすかったですか？



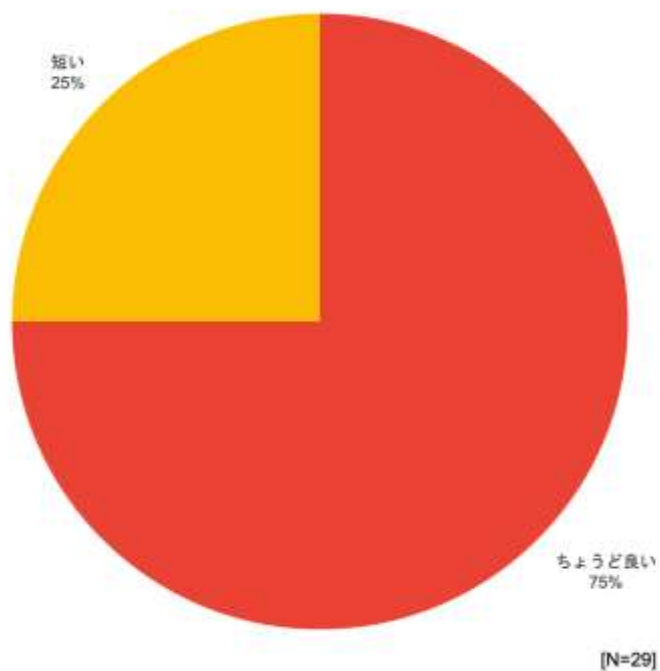
Q7. 「議会と区民のキャッチボール（双方向の意見交換）」という観点から、今回の議会報告会をどのように評価しますか？



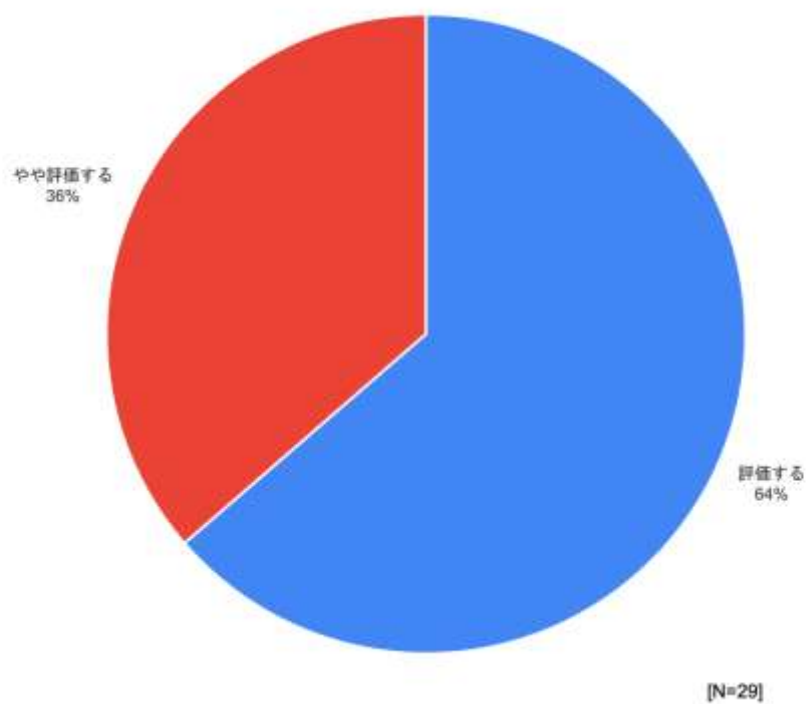
Q8. 今後の議会報告会において、「区民が参加・関与できる仕組み」として充実させてほしいことは何ですか？（複数選択可）



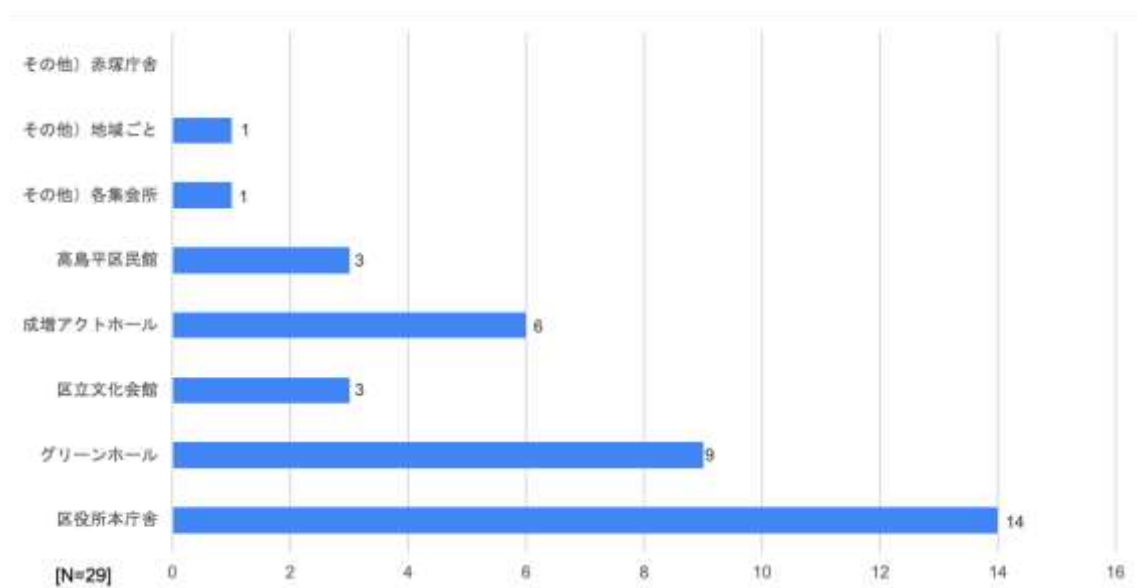
Q9. 所要時間について、どのようにお感じになりましたか？



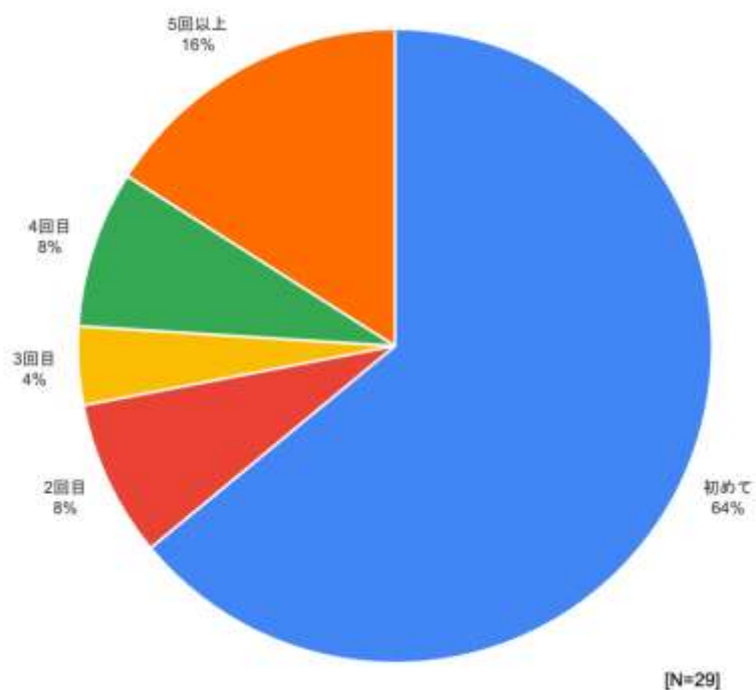
Q10. 議会報告会全体の評価について、教えてください。



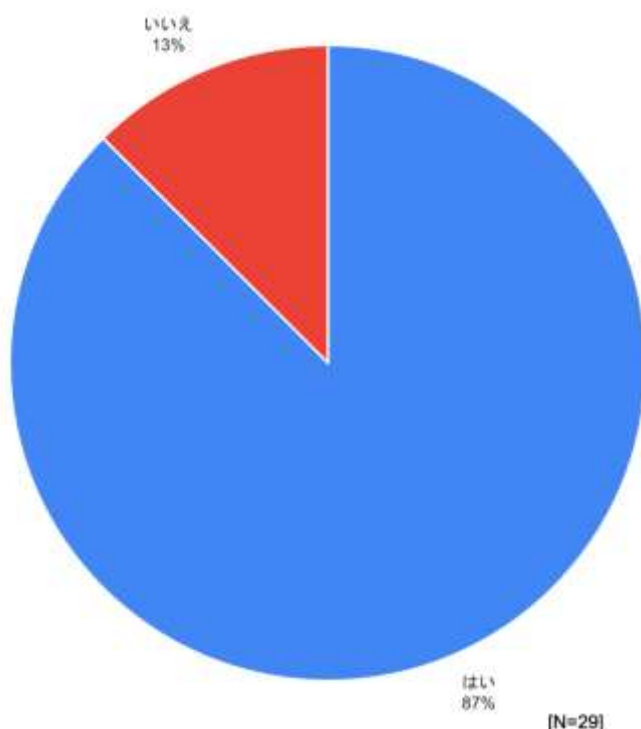
Q11. 今後の開催場所のご希望はありますか？



Q12. 板橋区議会報告会は何回目のご参加になりますか？（ライブ中継視聴も含む）



Q13. 議会報告会で議会ツアーが開催された場合、参加したいと思いますか？



Q14. 自由記載欄（原文まま）

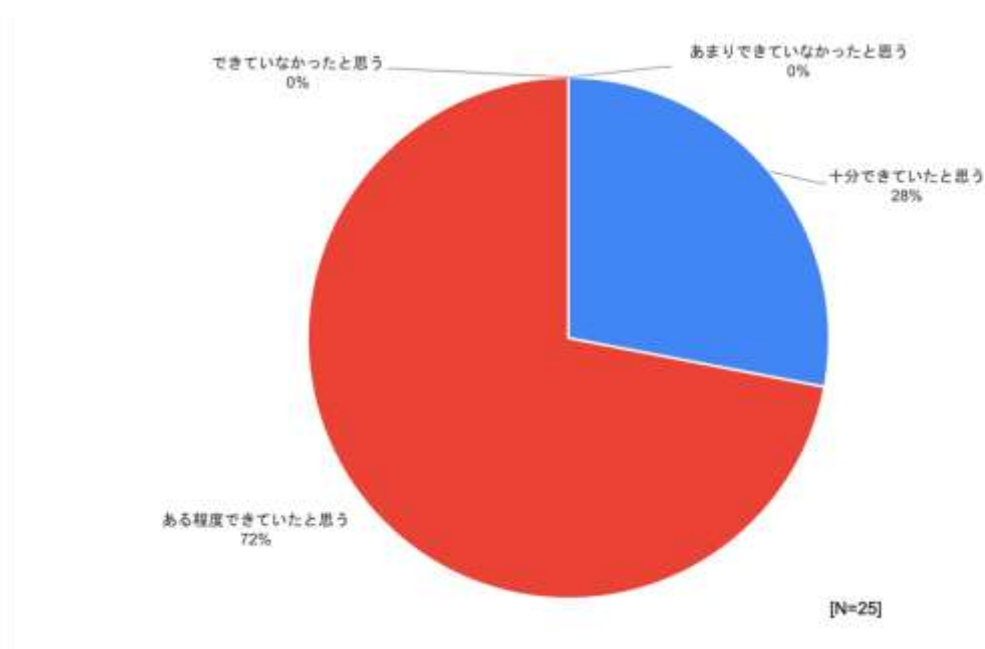
- ・ 初めての参加でしたが有意義で良かった
- ・ いち区民として区議会議員さんのありがたみが最近わかりました。いつもありがとうございます。
- ・ 議員さんと身近にお話できて良かったです
- ・ 議会ツアーを残して欲しいです。区役所ツアーもやって欲しいです
- ・ 色々な方の意見が聞けて良かった。子どもや大学生対象の回もあるといいというグループ発表を聞きとても良いと思いました、議会が身近に思えました。ありがとうございました。
- ・ 大人だけでなく子どもが興味を持てる内容になると良いと思います。小学校・中学校での報告会実施はいかがでしょうか。たくさんの面白い意見や感想は出るように思います。
- ・ 感謝
- ・ 開催回数を増やして欲しい
- ・ グループディスカッションは参加できて良かった
- ・ 質疑応答が前回は無かったと伺いましたので、今回初めましての区議さんとざっくばらんにお話が伺えて良かったです。もっと回数を増やしてください。色々なアドバイスが出たので今後を楽しみにしています。

- 今後もこの報告会でしたら参加したいです
- 日頃接する機会の薄い議員の方々のお姿も知れてありがたい場となりました
- 各支部単位でのタウンミーティングの開催も検討、有権者の予備軍（高校生・中学生）への参加、議会・区政への関心を持たせる機会として
- とても良い会でした。ありがとうございました。
- 時間は19時30分までと広報されていたが20時までだった、正しく広報していただきたい
- 質疑応答の時間は絶対欲しい
- 今回はテーマが運営だったが委員会ごとや内容を明確にした意見交換ができるといい

(4) アンケート集計 (議員)

参加した議員のアンケート集計結果は以下の通り。[N=25]

Q1. 議会基本条例第12条にある「議員が直接報告をし、区民の意見を聴取する方法」として、今回の議会報告会は実施できていたと思いますか？



Q2. (「十分にできていたと思う」「ある程度できていたと思う」と回答した方)

今回、特にどのような点が良かったと感じましたか？

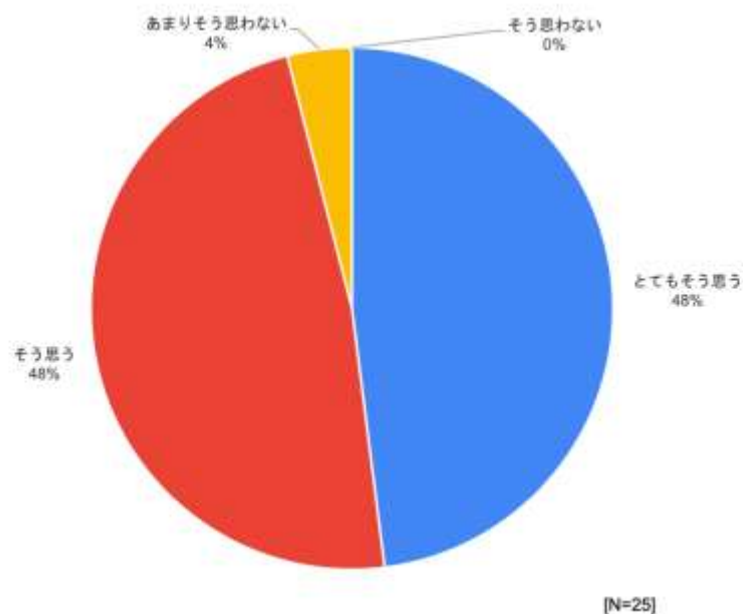
- ・ 参加者の皆さんと直接対話が出来た点
- ・ 直接区民の声や意見を聞くことができたこと。
- ・ 対話ができただこと
- ・ グループディスカッションでの実施で、これまでの一方通行から参加して下さった区民の方のご意見を忌憚なくお聞きできたのは今後の議会報告会のあり方にとっても有意義な会になったとおもいます。
- ・ 議論に活気があり、すべての参加者が主体的に発言していた
- ・ ディスカッションが行われた点が良かったです
- ・ 報告会のあり方だけでなく、議会・議員の日常の中で住民から、活動の理解を深める必要性のご意見をいただいた
- ・ 検証・見直しをして企画をした事が参加者に伝わった
- ・ ディスカッションの中で、双方にとって理解や認識を共有し、納得感を持つ場になったように感じました。
- ・ 初のディスカッション形式で良いと思った
- ・ 対面で話し合えたこと

- ・ 参加した人から、言いたいことも言えたり、議員の方の意見も聞けて、直接、こんなに近い距離で話げできたことはすごく楽しかったし充実してたと感想を聞きました。とてもよかったです。
- ・ ワークショップ的な雰囲気
- ・ 少人数のグループで区民から忌憚のない意見を聞くことができた。予想以上に重要な意見を伺うことができた。
- ・ 区民参加で少数グループで意見集約できた事です。
- ・ 参加者の皆さんの表情が楽しそうで、発表に積極的な方もいた。お帰りの方から受付に対しての不満の声がなかった。(不満があると大体帰りがけに不満の置き土産をしていくから)
- ・ 少人数の方でしたが、たっぷりと聞けていたため。
- ・ 対話を通じて議論を行い、深く聴取することができたから。
- ・ 直接はできていて良かった。今回は議会報告会のあり方についてがメインでしたので、直接の意見に一定の制約がありました。
- ・ 区民と議員が直接対話した点
- ・ 区民の方のお話をしっかり聞く会には出来たと思います。みなさん大変満足された顔でした。

Q3. (「あまりできていなかったと思う」「できていなかったと思う」と回答した方)
 今後、どのような改善が必要だと感じますか？

<回答なし>

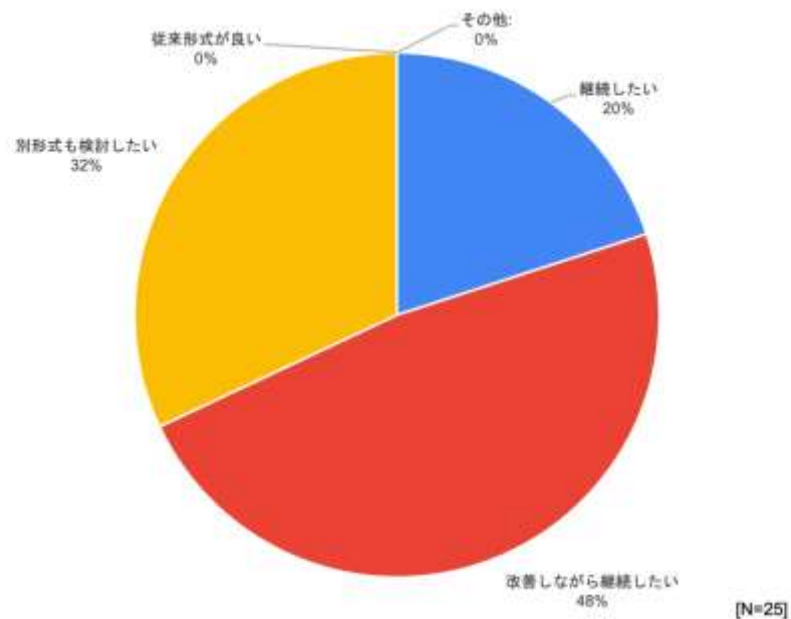
Q4. 今回の「区民と一緒に考える形式」は有意義だったと思いますか？



Q5. 従来の議会報告会と比べて、区民との距離感はどうでしたか？



Q6. 今後も今回のような形式を継続したいと思いますか？



Q7. 「こんな議会報告会にしていきたい」というアイデアがあれば教えてください。

- ①テーマを絞った議会報告会で、少人数による対話型
- ②区役所、成増、赤塚、高島平のうち毎年2箇所開催
- ③極力、準備、配付物を少なくすることによる開催疲れの無い報告会
- ④議会報告会というスタイルは議会日より、HP、議会傍聴に集約し、対話型意見交換会に。
- ⑤土日開催や中学、高校生意見交換会などバリエーションを豊富に _
- テーマ別、地域別など身近に区議会の報告を聞いたり議論する場があればいいと思う。
- 議会の広報・広聴を議会運営委員会が担う事を明確に位置づけ今回の様に委員と有志議員で開催すれば良い。まずは、広報・広聴機能の拡充を議会運営委員会で決める事からはじめて欲しい。報告会は、その延長線上にある。 _
- 本日の意見の中にもあったが、認知度向上の意味でも参加者満足度の意味でも「頻度」が重要なのではないか。定例会終了後ごとに区内4箇所で、議員全員ではなく地域ごとの担当議員により実施し、あまり準備を必要としない形式で実施していったほうがよいのではないだろうか。 _
- 現状のやり方は始めたばかりなので、とりあえず継続した方が良いかと思えます。 _
- やはり、グループディスカッションは意見出しや方向性を定めるには効果的だが、集約された意見に沿った、具体的なアクションや議会側の行動変容につながる仕組みを、まずは作ってからの方が、今回のような取り組みの効果、住民の納得感が得られると思う _
- 昨日のご意見にもあったように、開催日時や参加対象の設定については、今後さらに工夫・検討していく余地があるのではないかと感じました。 _
- 改善しながら進める事 _
- 各地域で小規模で意見交換できる場があるといいなと思いました。また、多くの人が求めていた平日の夜ではなく土日の日中など開催時間の工夫やテーマ別に意見交換したいというような形も必要と感じました。 _
- やはりグループでのワークショップは、別のテーマでも有効だと思う。まちづくり協議会などを傍聴しているときは思わなかったが、ワークショップは有効だと思った。 _
- 一か所だけでなく、複数か所でできたらと思います。また、結果の報告ではなく、これから板橋に必要なテーマを掲げて、意見を聞いていくと、区

民同士でも様々な意見があることに気づくと思う。また、その場で決定しなければ、不満も出づらと思う _

- 全議員参加ではなく、平日や休日のさまざまな時間に、いろいろな地域やテーマで小グループの議員で開催を行う。 _
- 政策的に中立な話し合いを確約した上で区民と議員が話し合える報告会 _
- 意見でも出ましたが、1つの身近なテーマで議論を深めたり、結論が出ているものについての協議の経緯を報告するなどしても面白いのではと思いました。

委員会別にこのような報告会を開催しても良いのではと感じました。 _

Q8. その他、ご意見・ご感想があればご記入ください。

- いわい委員長はじめ実行委員会の皆様、大変お疲れ様でした！ _新しい流れに期待しています _
- 参加者がとても活発に意見を出していることが印象的だった。意見を言える場が求められていると感じました。 _
- ①報告会の告知が甘いとの指摘があった。議会の広報・広聴予算を要求する必要がある。
②議員の意識改革が不可欠。チャーターメンバー以外の議員は、報告会の歴史を学ぶべき。
※なぜやっているのか？今回を含めわかっていない様子が散見される。 _
- 帰り際『楽しかった』と語られている方がいました。 _
- 実行委員会の皆様のご尽力に感謝です。ありがとうございました。 _
- 新たな企画ということで、ご準備など大変なことも多かったかと思えます。お疲れ様でした。 _
- 無し _
- いろんな人の意見で、試みをしてみて、私も勉強になりました。やってみて良かったと思います。また、みんなで助け合ってやった感じもすごく楽しかったです。 _
- 東村山市議会と板橋区議会と同じ頃に議会報告会を始めていて、毎議会後（年4回）、複数の地域で今回の板橋のように市民も巻き込んでの報告会をしていると聞きました。板橋も毎回は無理でも複数回できると良いかなと思いました。 _

- あるテーマに賛成、反対双方の議員がお互いに話すことで、質疑も可能にできると良いかと思います。白熱しすぎないように、ひとテーマ一定時間で区切る工夫も必要に思います。 _
- 今回は議会報告会のあり方を区民と議員で話し合ったにすぎないため、今後の議会報告会に今回の要領を活かせるかは分からない。政策的に中立な話し合いをするというルールが守られるなら、区民と議員が話し合うような議会報告会はできると思う。 _

Ⅲ 結果のまとめ

1. 報告会の振り返り

第4回実行委員会（令和8年5月15日）

【会議概要】

日時：令和8年5月15日（金）16時～17時

会場：第三委員会室

参加者：

- ・議員 17名

2. 周知方法について

（1）現状認識と課題

- ・議会報告会の周知は甘いという指摘が参加者からあった
- ・現状でやれることはやっており、これ以上のレベルアップには予算要求が必要
- ・お知らせのタイミングをもっと早くすべき

（2）具体的なアイデア

- ・チラシをスーパー等のレジに置いてもらう、議員の駅頭活動でチラシを配布する、町会の会合で口コミで広げるという意見が参加者からあった

（3）議員自身による発信

- ・ポスター等は費用がかかるが、SNS発信は無料でできる。議員自身がSNSで積極的に発信すべき
- ・過去に内田議員が動画制作を主導したように、議員自身でコンテンツを作り広めるべき
- ・無料といっても汗をかいて作るものであり、機材も自前で用意して取り組む必要がある

（4）ブランディング

- ・字体・デザインの基本トーンを統一すべき。毎年デザインが違くと継続イベントとして認識されにくい。掲示板で見ても「知らなかった」となってしまう

（5）告知内容の不備

- ・終了時刻が告知では19時半、実際は20時となった。最終点検を含め注意すべきだった

3. 当日のプログラムについて

(1) グループディスカッション形式の評価・課題

- ・初の試みとして概ね好評、参加者からも褒められた
- ・議員と身近に議論できたことへの満足度が高かったように感じる
- ・一斉に話してガヤガヤしていることへの不満（「うるさい」「もう少しちゃんと聞きたい」）
- ・ただし、ガヤガヤは活気の表れでもあり、別室開催は寂しくなる
- ・参加人数は今回のように30名程度が限度

(2) 時間配分

- ・18時半開会、18時40分第1部開始予定が、実際は18時49分スタートで10分押した。後半が圧迫されるので、次回は時間配分を要検討

(3) 第1部・第2部の構成（現状把握と未来）

- ・現状把握と未来の議論を分けるのが難しく、グループによっては混ざって進行した
- ・模造紙に貼る段階で、意見を区別すればよいので進行としては問題なかった当初から「ごっちゃになるのでは」という懸念は出ていた

4. 当日の運営について

(1) グループに入らない議員の扱い

- ・グループに参加しない議員が立っているだけの状況に参加者から疑問の声があった
- ・何度か実行委員長からグループに入ってもらおうよう誘導したが、手を挙げたのは1人のみだった（最後まで参加可能な人が少なかった）
- ・第2部切替時にも声かけしたが反応が鈍かった
- ・自主性に任せると遠慮が出るので、事前にテーブル指定をきっちり決めるべき
- ・厳しく言えば意識の問題であり、「様子見程度で来た」という評価しかできない
- ・一方、初めての試みで振る舞い方が分からなかった人もいるため仕方ない面もある
- ・役割をお願いすればずっと動いてくれたので、その点は助かった
- ・実行委員・当日スタッフ・参加のみの議員それぞれの立ち位置設計が課題

・やってみたら「意外と面白い」と感じた議員もいるはずで、2回目以降は意識が変わってくるのではないか

(2) 受付運営

- ・名簿は分かりやすく良かった
- ・ネームプレートのシールが剥がれやすかった
- ・次回からは首かけ式も検討すべき（コスト大ではないので）
- ・事前に参加者・グループ分けが判明していたので、ネームプレートは事前印刷できると良かった

(3) 事務局との連携

- ・議員だけで運営する前提であるものの、事務局に頼る場面が多かった
- ・個人情報関連は事務局に頼らざるを得ない
- ・議員側でできることを増やすためには仕組み作りが必要。例えば、印刷については議会報告会用としてコピー機を使える仕組みを整備する必要がある

(4) オンライン参加 (Zoom)

- ・申込3名に対し実参加1名（終了5分前に入室されたため、実質意見交換ができたのは5分程度であった）
- ・オンライン申込者であっても、Zoom等の操作に慣れている方ばかりとは限らない
- ・周知方法・参加動線に大きな改善余地がある
- ・リアルタイム配信型（ニコニコ動画のようなコメント参加形式）を検討すべき
- ・アーカイブ配信+後日意見募集の形を取り入れられるとよい
- ・録画コンテンツ化してSNS展開できるとよい
- ・リアルタイム参加者だけに限定しない仕組みを作るべき
- ・オンラインファシリテーションには相応のスキルが必要で、担当議員は事前準備をしっかりする必要がある
- ・複数人体制が必要でタイパは落ちるのかもしれないが、オンラインを完全になくす選択肢はない

5. 当日までと終了後の進め方について

(1) 準備～終了後を通した設計の必要性

- ・当日だけで完結させず、準備からフォローまで設計すべき
- ・今回のような振り返り会自体は素晴らしく、しっかりと改善につなげるべき

- ・出た意見の整理、議会としての受け止め方、政策議論への接続の仕組みを作るべき
- ・区民から見て「自分の声がどう扱われたか」が分かる仕組みが必要
- ・参加できなかった区民向けにアーカイブ公開や追加意見募集の仕組みを作るべき

(2) 政策立案への接続

- ・12条に基づくグループディスカッションだったが、意見聴取と政策立案への接続をより具体化する仕組みが必要
- ・実行委員長から議長を通すなど、議会としての政策提案の仕組みを構築するなど、他自治体のように住民が登壇し、議会で揉んで議長が一般質問で取り上げる仕組みも参考にすべき
- ・仕組みを作ることで12条が生きる。あるいは12条に明記することも検討すべき

6. その他（総論）

(1) 開催形態・回数・場所

- ・成増、高島平、赤塚支所、地域センターでも開催すべき
- ・テーマを絞って地域別に回数を重ねる方式にすべき（高島平で福祉、成増で再開発など）
- ・区役所開催なら2テーマでグループ分けする方式もよい
- ・立派なものでなくていいから回数を増やすべき
- ・場所や回数を増やすことも改善策の一つ
- ・平日夜だけでなく土日開催の要望にも応えるべき
- ・担当者の負担が大きくなりすぎないようにすべき
- ・4年に1回は見直しを入れ、他3回は手間をかけずにできるようにすべき
- ・事務局の手も極力煩わせない方法を考えるべき
- ・手間なく効率的・持続的にできる方法を今後考えていくべき

(2) 参加人数・参加者層

- ・58万人区民に対し30名程度の参加では意見聴取として不十分であり、改善が必要
- ・満足度は高いが、本来の目的（意見聴取→政策立案）達成には程遠い
- ・同じ顔ぶれではなく、新規参加者が増えていく仕組みを作るべき
- ・口コミでじわじわ広がり、議員に話しかけてよいと思ってもらえるようになるのが理想。時間がかかることであり、数では評価できない

- ・参加人数に対するコストの観点では厳しいが、回数を重ねないと見えてこないこともあり、コスト理由で安易にやめるべきではない

(3) テーマ設定と運営形式

- ・今回は政治的に中立で話しやすいテーマだったから成功した。次回同じやり方では通用しない。議会報告会を続けるならやり方をしっかり変えていくべき

- ・テーマを設定し、政党の異なる議員が混じる形式もあり得るが、難易度は上がる

- ・政策・事業の話は立場の違いで難しいため、議会のことを中心テーマにするのが現実的

- ・議会のことであれば議員個人の答えも権限の範囲内と言える

- ・区民が議会を活用するという観点から、議会のことを中心に今後もやるべき

- ・立場の違いがある分野でも、教室型ではなくグループディスカッション形式ならぶつかり合いにくく可能性がある

- ・特別委員会のやり方(立場が異なっても最後に提言にまとめる枠組み)を題材にすればよい

- ・グループディスカッションは良かったが、そこで出た意見が58万区民の代表的意見になるとは言えない

- ・提言にまとめる際、声の大きい人の意見だけが反映される事態は避けるべき

(4) 「議会報告会」そのものの再検討

- ・条例は不変ではなく、見直してよい

- ・当初は80~100人参加で質疑応答もあったが、收拾がつかず形式変更した経緯がある

- ・このまま「議会報告会」形式にこだわると、報告義務と意見聴取義務がジレンマになるので、形式を変えていくべき

- ・「議会報告会」を「意見交換会」に名称変更することも検討すべき

- ・少人数開催は評価されたが、「報告会」としての位置づけはどうだったか見つめ直して申し送るべき

- ・議員の中には「議会報告会自体不要」との声もあるという事実を踏まえ、意義を常に問いながら続けるべき

- ・報告会だけの議論で終わらせず、「何のためにやるのか」の共通認識を持つところから始めるべき

- ・前年踏襲ではなく、一から中身を検討できる議会報告会のあり方が必要

- ・実行委員会の仕組み作りには一定の時間と期間をかけた議論が必要

- ・条文に示されたことは基本であり、条文に則ってやる必要性は大事にすべき

(5) 広聴広報機能全体の中での位置づけ・政策立案との接続

- ・議会報告会は広聴広報機能の一部にすぎないため、総論として議論すべき
議会報告会の1日にすべてを詰め込む必要はない
- ・SNS、議会だよりなどを含めた総合的な発信を強化すべき
- ・「議会に何を要望すればいいのかわからない」という区民の声に応えるべき
- ・「区長への手紙」はあるが「議長への手紙」はないので、議会としての広聴窓口を整備すべき
- ・手書き・メール・SNSのDMなど、議会が日常的に広聴できる体制を作るべき
- ・意見収集にはアンケート、質問要望書、グループディスカッションでの収集など、工夫の余地がある。その上で対面・オンライン・録画の議会報告会や、意見交換会を別途開催するのか、これらの立て分けをみんなで考えていくべき
- ・リアルをなくしオンラインだけにする選択肢も排除せず検討すべき
- ・政策立案への接続は今の仕組みにないため、議運だけでなく熱意ある議員で集まって議論すべき
- ・グループディスカッションの場で議論したとして、その場で結論を出せなくても、議員が出た意見を頭に留めて活せるとよい

(6) 議員の参加姿勢・運営体制

- ・「条例にあるからやる」を前面に出しすぎると「やらされ感」が出るため、自発的に参加する人たちでやるべき
- ・会派の枠組みを超えた呼びかけにすべき
- ・強制的な動員はなかったが、自発的参加で人数の都合上ほぼ全員参加となった会派もある

(7) 区民と議会の関係性

- ・議会報告会を入り口にして、議員個人だけでなく他議員や議会そのものに興味を持ってもらうべき
- ・区民が議員だけでなく議会も利用してくれるようにすべき
- ・区民から「賛成・反対双方の議論が交わされれば理解できる」との声があるが、これは本会議場の討論そのもの

(8) 世代間継承

- ・周知方法だけ強化すれば解決する話ではない。もちろん周知も大事なため改善はすべきだが、プログラム、運営、アンケートについてももしっかり議論すべき
- ・同じコンテンツの繰り返しでは再来訪してもらえないため、改善継続を申し送るべき

- ・議運でこれをしっかり揉んで、選挙後に引き継げる報告・あり方の回答をまとめるべき
- ・選挙でメンバーが変わるため、1期生で参加しなかった人にも理解してもらえる引き継ぎが必要。条例自体の説明も受けていない議員が多いため、世代間でしっかり継承していくべき
- ・今期最終年なので、議運に残るメンバーで良い報告書を作ってほしい

IV 資料集

1. 実行委員会募集チラシ

議会報告会実行委員会メンバー募集要領

【今回の議会報告会理由】
今回の議会報告会は、これまで議会運営委員会で行ってきた効果検証を踏まえ、次の段階として、板橋区議会の広聴広報の在り方そのものについて、区民の皆様から率直なご意見を伺う場として、開催するものです。
そのため今回は、従来行ってきた常任委員会・特別委員会ごとの活動報告は実施せず、議会としての広聴広報の取組が区民にどのように受け止められているのか？また、どのような点に課題や改善の余地があるのかを直接伺うことに主眼を置きます。議員一人ひとりが自ら区民と向き合い意見を受け止めるフラットな対話環境の場とすることを目指します。
こうした取組を通じて、今後の広聴広報活動の改善や次回以降の議会報告会の在り方につなげていきたいと考えています。なお、今回は会派別を行わず、ご賛同を頂けるメンバーを募集します。
私ども議会運営委員会では、先派を超えて新たな板橋区議会のチャレンジにご賛同を頂ける方の応募をお待ち申し上げます。

【今後のスケジュール】

① キックオフ・ミーティング
日時：2月27日（木） 議会運営委員会理事会終了後 11時～
内容：実行委員会メンバーによる企画・運営の検討

② 議会報告会
本番日時：5月12日（祝） 18時30分～ 会場：第一委員会室

発行：議会運営委員会

新しい区民とのコミュニケーションの
仕組みをつくるための推進力になって
頂ける方をお待ちしています。

キックオフミーティング	内容
2月27日 金曜日 11:00 スタート	企画・運営・会場・受付
議会報告会	開催場所
5月12日 火曜日 18:30 スタート	第一委員会室

応募方法：
議会運営委員会まで
MAIL 返信 募集期限 2月16日 月曜日

発行 議会運営委員会 詳細は、別紙の通り

2. 当日使用備品

(1) 配付物

配付資料

- ・冊子「わたしたちの区議会」、区議会だより
- ・「なぜ、いつもと違う『議会報告会』なの？」
- ・議会報告会次第
- ・アンケート用紙

(2) 案内・受付・会場

- ・会場までの案内に必要な物
- ・会場レイアウト、テーブルに置くグループ表記
- ・名札：タックシール。シールとマジック用意（事務局）
- ・子どものプレイマット等準備（事務局）

(3) グループディスカッション

グループディスカッション用模造紙と付箋、マジック（事務局）

(4) オンライン

WiFi、ノートPC 2台、Zoom 環境

3. 広報ツール

(1) ポスター

事前
申込制

第13回
板橋区議会報告会

テーマ
議会報告会の
ありかたについて

あなたの
意見をお聞かせください！

板橋区議会では、議会報告会のありかたを検討しています。
みなさんの声をもとに、もっと参加しやすい形へ
変えていきたいと考えています。
テーマや進め方も、区民のみなさんの声でつくっていききたい。

「こんなテーマがいい」
「こういう形式なら参加しやすい」
ぜひ、率直なご意見をお聞かせください。

令和8年 5月12日(水)
18時30分～(1時間程度)

板橋区役所
11階 第1委員会室

対面・オンライン併用
オンライン参加URLは
毎日メールにて送付いたします

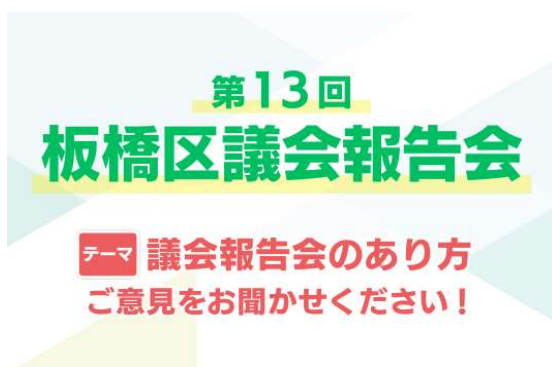
お申込み
ご参加には事前のお申込みが必要です。板橋区議会事務局まで
下記のお電話またはメールにてお申し込みください。

03-3579-2704 (平日 9-17時) gikai@city.itabashi.tokyo.jp

区議会HP

主催：板橋区議会

(2) Web



公式LINE バナー



HP用バナー